

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成23年11月10日(2011.11.10)

【公開番号】特開2010-83022(P2010-83022A)

【公開日】平成22年4月15日(2010.4.15)

【年通号数】公開・登録公報2010-015

【出願番号】特願2008-255243(P2008-255243)

【国際特許分類】

B 41 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 41 J 3/04 101Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年9月22日(2011.9.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第一の色成分のヘッドと、前記第一の色成分に後続する記録に使用される第二の色成分のヘッドと、前記第一及び第二の色成分のヘッドの間に配置され前記第一の色成分のヘッドによる画像の記録状態を検出するセンサとを含むヘッド部と、

入力された画像情報に基づいて、前記第一及び第二の色成分それぞれに対応する記録データを生成する記録データ生成手段と、

記録媒体上に画像が形成されるよう前記ヘッド部を制御することで画像を記録する記録制御手段と、を備え、

前記記録データ生成手段は、

前記センサが検出した記録状態に基づいて、前記第二の色成分に対応する記録データを生成する

ことを特徴とする画像形成装置。

【請求項2】

前記記録制御手段は、前記ヘッド部を複数回往復走査運動させ、該往復走査運動の一方又は双方で前記記録媒体上にドットの形成処理を行う

ことを特徴とする請求項1に記載の画像形成装置。

【請求項3】

第一の色成分のヘッドと、前記第一の色成分のヘッドを挟むように配置されたセンサとを含むヘッド部と、

入力された画像情報に基づいて、前記第一の色成分に対応する記録データを生成する記録データ生成手段と、

同一領域に対する複数回の走査により記録媒体上に画像を形成するよう前記ヘッドを往復走査運動させる記録制御手段と、を備え、

前記記録データ生成手段は、

前記センサが検出した、先行して所定領域に記録された前記第一の色成分の記録状態に基づいて、前記第一の色成分のヘッドにより前記所定領域に記録される記録データを生成する

ことを特徴とする画像形成装置。

【請求項4】

前記記録データ生成手段は、前記記録データ生成手段で生成された記録データと、前記センサが検出した記録状態に基づいて、ドットの形成割合又は形成位置の少なくともいざれか一方を修正することを特徴とする請求項1乃至3のいざれか1項に記載の画像形成装置。

【請求項5】

前記記録データ生成手段は、前記記録データ生成手段で生成された記録データと、前記センサが検出した記録状態に基づいて、前記ヘッドに設けられたノズル毎に対応する記録濃度を修正することを特徴とする請求項1乃至4のいざれか1項に記載の画像形成装置。

【請求項6】

前記記録データ生成手段で生成された記録データが示す濃度と、前記センサが検出した濃度との差分を算出する差分算出手段を更に備え、

前記記録データ生成手段は、前記差分算出手段で算出された差分に基づいて、前記記録データを修正することを特徴とする請求項5に記載の画像形成装置。

【請求項7】

第一の色成分のヘッドと、前記第一の色成分に後続する記録に使用される第二の色成分のヘッドと、前記第一及び第二の色成分のヘッドの間に配置され前記第一の色成分のヘッドによる画像の記録状態を検出するセンサとを含むヘッド部を備えた画像形成装置の制御方法であって、

前記画像形成装置の記録データ生成手段が、入力された画像情報に基づいて、前記第一及び第二の色成分それぞれに対応する記録データを生成する記録データ生成工程と、

前記画像形成装置の記録制御手段が、記録媒体上に画像が形成されるように前記ヘッド部を制御することで画像を記録する記録制御工程と、を有し、

前記記録データ生成工程は、

前記センサが検出した記録状態に基づいて、前記第二の色成分に対応する記録データを生成する

ことを特徴とする画像形成装置の制御方法。

【請求項8】

第一の色成分のヘッドと、前記第一の色成分のヘッドを挟むように配置されたセンサとを含むヘッド部を備えた画像形成装置の制御方法であって、

前記画像形成装置の記録データ生成手段が、入力された画像情報に基づいて、前記第一の色成分に対応する記録データを生成する記録データ生成工程と、

前記画像形成装置の記録制御手段が、同一領域に対する複数回の走査により記録媒体上に画像を形成するように前記ヘッドを往復走査運動させる記録制御工程と、を有し、

前記記録データ生成工程は、

前記センサが検出した、先行して所定領域に記録された前記第一の色成分の記録状態に基づいて、前記第一の色成分のヘッドにより前記所定領域に記録される記録データを生成する

ことを特徴とする画像形成装置の制御方法。

【請求項9】

コンピュータが読み込み実行することで、請求項7または8に記載の各工程をコンピュータに実行させるコンピュータプログラム。

【請求項10】

請求項9に記載のコンピュータプログラムを格納したことを特徴とするコンピュータ可読記憶媒体。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記課題を解決するため、本発明においては、第一の色成分のヘッドと、前記第一の色成分に後続する記録に使用される第二の色成分のヘッドと、前記第一及び第二の色成分のヘッドの間に配置され前記第一の色成分のヘッドによる画像の記録状態を検出するセンサとを含むヘッド部と、入力された画像情報に基づいて、前記第一及び第二の色成分それぞれに対応する記録データを生成する記録データ生成手段と、記録媒体上に画像が形成されるように前記ヘッド部を制御することで画像を記録する記録制御手段と、を備え、前記記録データ生成手段は、前記センサが検出した記録状態に基づいて、前記第二の色成分に対応する記録データを生成することを特徴とする画像形成装置が提供される。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】